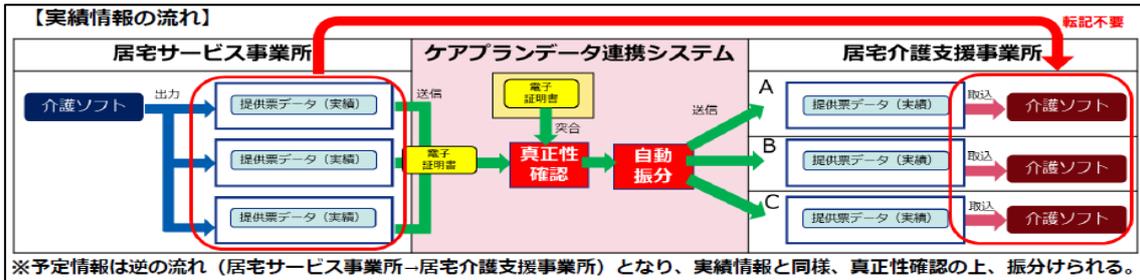


介護事業所の皆様へ

ご存じですか？ ケアプランデータ連携システム

【ケアプランデータ連携システムとは】

これまで、主に毎月手書き・印刷し、郵送やFAXでやりとりしていたサービス提供票や居宅サービス計画書を、クラウド上で安全に**電子データ**でやり取りできるシステムです。



【システム活用で期待される効果】

■業務の効率化

【期待できる削減効果例】

- ・記載時間の**削減**
- ・転記誤りの**削減**
- ・データ管理による**文書量削減**
- ・介護従業者の負担**軽減**

【効率化による相乗効果例】

- ・利用者支援にかけ**る時間増**
- ・ケアの**質の向上**

■費用対効果

【期待できる効果例】

事業所がケアプランを送付するために掛かる費用の削減が見込まれます。

- ・人件費の削減
- ・印刷費の削減
- ・郵送費の削減
- ・交通費の削減
- ・通信費（FAX）の削減

（人件費削減を考慮した場合）
約81万6千円/年の削減
※1ヶ月あたり約6万8千円×12ヵ月

（人件費削減を考慮しない場合）
約7万2千円/年の削減
※1ヶ月あたり約6千円×12ヵ月

※調査研究のアンケート結果から試算した全国平均の見込み金額あり、削減費を確約するものではありません。

【コスト削減による相乗効果】

- ・介護人材の**新規確保**
- ・介護人材の**定着率向上**
- ・事業所環境の**維持費、改善費の割当額の増加**

※令和2年度老健事業による試算

【シミュレーションツール】 ※サポートサイト掲載

たった**5つ**の数値を入力するだけで、システム導入後の費用対効果を簡単診断！

シミュレーションツールの概要

ケアプランデータ連携システムを導入することで得られる効果を簡単に調べることができるツールをご用意しました。たった**5つ**の数値を入力するだけで、システム導入後の費用対効果をシミュレーションできます。

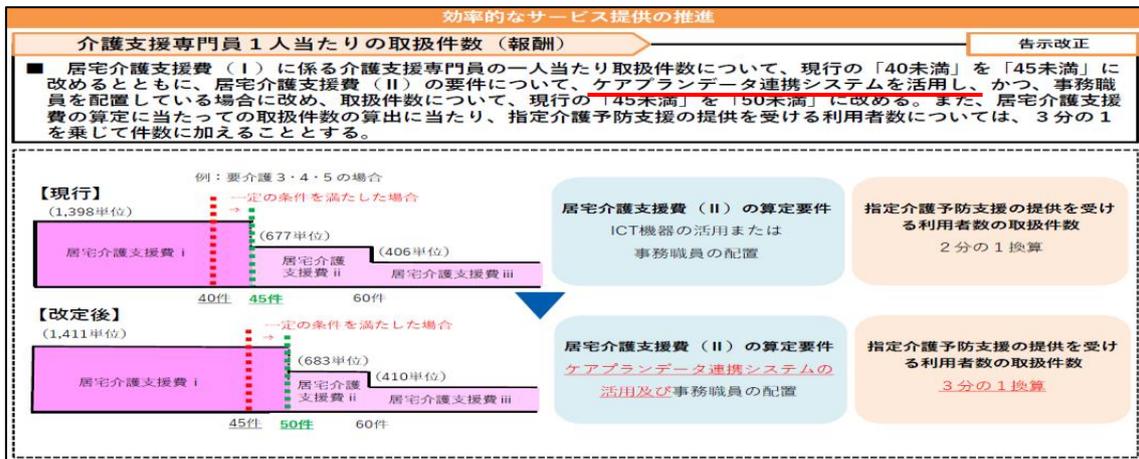
※令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」に基づいて算出しているため、シミュレーション数値は主に居宅介護支援事業所における概算値となっています。

- 30秒で費用対効果を簡単診断
- 削減できる金額・時間が数値で見える化
- 事業所ごとの数値シミュレーションが可能

介護事業所の皆様へ

【令和6年度介護報酬改定について】

ケアプランデータ連携システムの活用が算定要件となる改定が行われます。



「令和6年1月22日社会保障審議会介護給付費分科会【資料1】令和6年度介護報酬改定の主な事項について」抜粋・加工

この機会にケアプランデータ連携システムはじめませんか？

※詳しくは、各関連機関のホームページよりご確認ください。

○ヘルプデスクサポートサイト(シミュレーションツール・利用申請等)

<https://www.careplan-renkei-support.jp>

○WAMNET(システム利用事業所を地図上で確認できます)

<https://www.wam.go.jp/wamapp/kpdrsystop>

【伝送請求以外の事業所の皆様へ】

栃木県内の介護事業所※の

80%以上

が**伝送(インターネット)請求**をしています。 ※令和6年2月請求事業所数(みなし指定含む)

ケアプランデータ連携システムは、インターネット回線を経由し、
「ケアプランデータ連携基盤」を通して事業所間のデータ連携を行います。
この機会に**伝送請求への変更**と**システム導入**をご検討ください。

○インターネット請求に関すること(栃木県国保連合会:028-643-5400)

https://tochigi-kokuho.jp/kaigo/02_netseikyu.html

栃木県国民健康保険団体連合会